

はじめに

1 **まずはかゆみを知ろう!**
目次へ戻る

2 **かゆみを採点しよう!**
目次へ戻る

3 **かゆみをやっつけよう!**
目次へ戻る

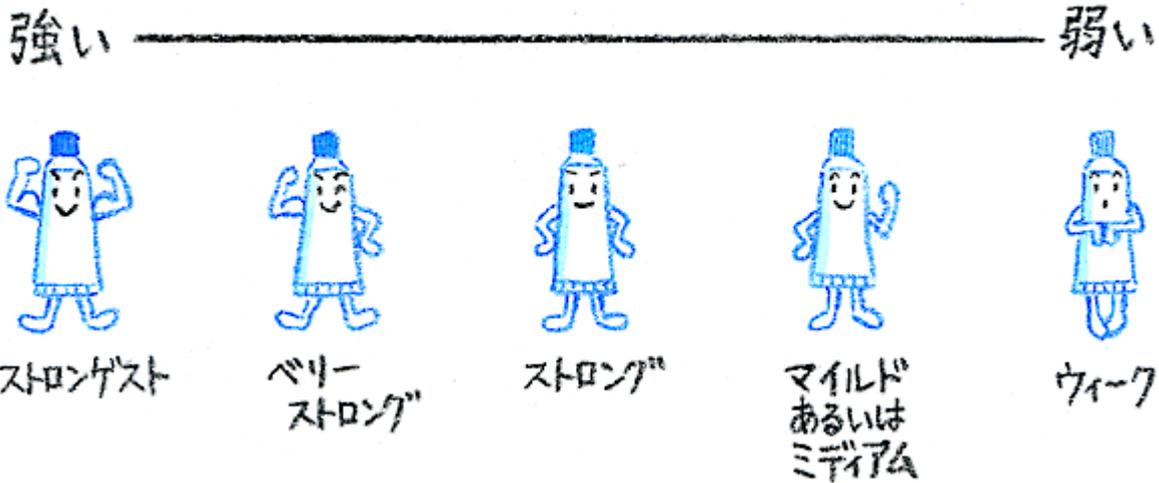
このページを印刷する (PDF:238KB)

③ かゆみをやっつけよう

(1) 強いかゆみがある時の外用療法 (ステロイド外用薬やプロトピック軟膏を中心にしましょう)

5. ステロイド外用薬の種類

ステロイド外用薬は炎症に対する作用の強い順に、ストロングゲスト (strongest, I群), ベリーストロング (very strong, II群), ストロング (strong, III群), マイルドまたはミディアム (mild・medium, IV群), ウィーク (weak, V群) に分類されています。処方されているステロイド外用薬のランクを確かめておきましょう。ジェネリック医薬品の場合は、一般名を参照してください。



薬の効果	一般名	代表的な製品名
I 群 ストロングゲスト	プロピオン酸クロベタゾール (0.05%) 酢酸ジフロラゾン (0.05%)	デルモベート ジフルール、ダイアコート
II 群 ベリーストロング	フランカルボン酸モメタゾン (0.1%) 酪酸プロピオン酸ベタメタゾン (0.05%) フルオシノニド (0.05%) ジプロピオン酸ベタメタゾン (0.064%) ジフルプレドナート (0.05%) アムシノニド (0.1%) 吉草酸ジフルコルトロン (0.1%) 酪酸プロピオン酸ヒドロコルチゾン (0.1%)	フルメタ アンテベート トプシム、シマロン リンデロンDP マイザー ビスダーム ネリゾナ、テクスメテン パンデル
III 群 ストロング	吉草酸ベタメタゾン (0.12%) プロピオン酸ベクロメタゾン (0.025%) プロピオン酸デキサメタゾン (0.1%) 吉草酸デキサメタゾン (0.12%) ハルシノニド (0.1%) フルオシノロンアセトニド (0.025%)	リンデロンV・VG、ベトネベートN プロパデルム メサデルム ザルックス、ボアラ アドコルチン フルコート

	プロピオン酸デプロドン(0.3%)	エクラー
IV群 マイルド(ミディアム)	吉草酸酢酸プレドニゾロン(0.3%) トリアムシロンアセトニド(0.1%) 酪酸ヒドロコルチゾン(0.1%) 酪酸クロベタゾン(0.05%) プロピオン酸アルクロメタゾン(0.1%) デキサメタゾン(0.1%)	リドメックス ケナコルトA、レダコート ロコイド キンダベート アルメタ デキサメタゾン、オイラゾンD
V群 ウィーク	プレドニゾロン(0.5%) 酢酸ヒドロコルチゾン(1%)	プレドニゾロン コルテス

日本皮膚科学会アトピー性皮膚炎治療ガイドラインより一部改変

[▲ページトップへ](#)

[<< 前のページへ](#)

[次のページへ >>](#)

厚生労働省科学研究費研究班(平成17~19年度)「アトピー性皮膚炎の症状の制御および治療法の普及に関する研究」作成

Copyright(c)2006 kyushu University, GraduateSchool of Medical Sciences, Department of Dermatology. All Rights Reserved.